

最新ニュースをお届けする

SR TOPIC

セーフティレコーダを使った成功事例が雑誌で連載されることになりました!



4月から、物流情報誌『流通設計21』でセーフティレコーダの導入事例についての連載がスタート。その名も、『ドライビングの科学』。1年間を通して、セーフティレコーダを導入していただいた企業さんがどのように使いこなしているのかを紹介していきます。連載第1回目は、生活共同組合コープとうきょうの100%子会社である協栄流通さん。安全運転を徹底したことで燃料の改善などコストダウンに成功されました。また、協栄流通さんではセーフティレコーダのデータをもとに点数評価を実施。成績のいいドライバーには、表彰金を進呈。ドライバーの意識を高める手段としても一役かっているそうです。

『物流設計21』は毎月1日発行です。ご興味のある方は、書店か以下のHPにてお問い合わせください。

輸送経済新聞社HP
<http://www.yuso.co.jp/>

流通設計21HP
http://www.yuso.co.jp/08_book/08_book_shousai/02_ryuutuu21.html

車に、街に、人に、未来にやさしい運転
SR comm セーフティレコーダ
コミュニケーション



「事故を減らす!」

安全に特化した車載機器がセーフティレコーダです。日常運転の特徴やくせ(荒い、弱点)がわかります。くせを改善すると「やさしい運転」ができるようになります。「やさしい運転」をすると、事故予防ができ、燃費も5%~30%(当社お客様実績)削減できます。

お問い合わせは
営業部 ☎03-5703-7041 03-5703-7043
E-mail:sales@datatec.co.jp

Voice from SR support staff スタッフの声

迅速な対応で、苦情も顧客満足に変える

SRサポートセンターを開設して4月で3年目に入ります。それまでは、営業部と技術部でクレーム対応などのサポートをしておりました。ドライブレコーダの必要性が一般紙面に載る機会が多くなったこともあり、セーフティレコーダとDVRの出荷台数が年々伸びてまいりました。そういうこともあり、SRサポートセンターの開設はお客様からも強く要望されておりました。

SRサポートセンターでは主にお客様からのクレーム対応、修理品の調査や設置業務などを行なっております。現在4人の社員で対応しておりますが、迅速に対応できるように日々奮闘しております。不具合が発生して、まず始めに連絡がくる一番つらい部署ではありますが、そういう状況でもお客様から「正常に動きました!!」「直

SRサポートセンター センター長
伊藤 智明

りました!!」と言っていただくとそれまでの疲れもどこかに飛んでしまうくらいうれしいです。

クレームが届くということは、お客様がデータテックの製品を使って頂いているということです。このクレームを、適切且つ迅速に対応していくことによって苦情が満足に変わると信じております。今後の課題は、メンバー各員のスキルの向上はもちろん、不具合の発生しない製品作りの手伝いとお客様からの声を機器開発やアプリケーションでの操作性向上に反映していくように開発部、技術部との橋渡しをしていければと考えております。



SR NEWSに関するお問い合わせはこちらまで

☎03-5703-7041 Email:sales@datatec.co.jp 担当 山田

発行 株式会社データ・テック 〒144-0052 東京都大田区蒲田4-42-12 新生ビル
☎03-5703-7041 03-5703-7043 URL <http://www.datatec.co.jp>
制作 有限会社パース デザイン 石場明子 写真 坂本正郁

SR NEWS

Vol.
20

やさしい運転
Safety Recorder

株式会社データ・テック

[セーフティレコーダ ニュース] 2005.4.20 平成17年 4月号



お客様にピンボーン! ユーザー探訪

[今回のお客様]
ジェイアールバステック株式会社 東京高速バス管理所(上写真)
本社 東京都千代田区

日本一のバスサービスを目指す、ジェイアールバステックさんにお邪魔しました。

桜が咲き始めた4月初旬、取材班はレインボーブリッジを渡り、新木場へ。朝9時を過ぎると徐々に交通量も増え、大型トラックやバスが目立つ。駅から約10分車を走らせると…。目に入ってきたのは、なんともいろんな種類のバスたち。その数、ざっと100台以上。マニアには堪えられないだろうすごい光景だ。どうやらここはバスたちの宿泊所らしい。そして、今回の取材先ジェイアールバステックさんの東京高速バス管理所なのであります。



お話を伺った方
喜多村光一 所長

日本一のバスサービスを目指しています。

ジェイアールバステックは、ジェイアールバス関東のグループ会社として今年3月25日から運行を開始いたしました。東京 - 名古屋間の高速バス輸送を車輛6台、乗務員12名で行っております。日本一のバスサービスを提供するバス事業社になることを目標に掲げております。そのため乗務員には事前に座学、実技の訓練をしっかり時間をかけて行いました。

快適性重視。それは、乗務員教育から

感情を持ったお客様をお運ぶので、「事故を起こさなかった」、「クレームがなかった」だけではなく、さらに踏み込んで、お客様の『快適性を重視』しています。快適性は乗務員の高い運転技術レベル、接客レベルが必要になります。そこでバステックではSR(セーフティレコーダ)を導入し、乗務員ひとりひとりの確実なレベルUPのために有効活用しています。



SR活用術

ジェイアールバステック編

SRcommを活用することで、 乗客の満足度UPを図る!!

外部機器とのドッキングで、さまざまなデータの検証が可能なSRcomm(セーフティレコーダコミュニケーション)。運送用トラックに装着されるケースが多かったSRですが、初めてバスに取り入れられたのがジェイアールバステックさん。モノではなく人を運ぶバス。どういう配慮をされ、どういうことに役立てられているのでしょうか。オリジナル活用術を徹底解析!!



車間距離センサ¹

前方車両との距離をはかります。

通過防止装置²

バス停の2Km、1Km、500m手前の位置になるとランプが点灯します。バス停の位置はSRで判定します。

運転意識低下警報装置

運転意識が低下してくると、SRに記録されます。運転席の背もたれ部分に付いています。

CCD
カメラがその瞬間をキャッチします。



GPS

おなじみ位置認識装置。
天井部に装着

SRcomm

安全データ、運行データを記録。さらにバス停の位置判定、運転意識低下警報装置の記録を行います。

DVR

CCDからの映像を取り込み、正常時の情報は定期的に消去。必要な映像だけをHDDカードに記憶させます。

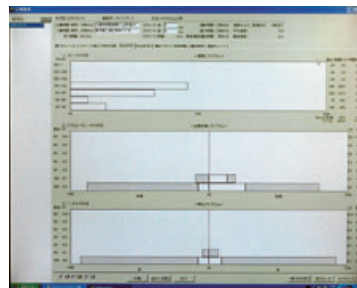


>> データチェックで出来ること



[DVRで撮ったデータ]

車の挙動データ。アクセル・ブレーキとハンドル操作の異常な動きに反応。右上の地図は危険挙動が発生した場所を示し、左上はリアルタイム動画、グラフはアクセル・ブレーキとハンドル操作で起こるGを数値化したもの。



[SRcommで撮ったデータ]

出すスピードの割合(上)、アクセル・ブレーキ操作(真中)、ハンドル操作(下)の状況データ。急ブレーキ、急発進は一目瞭然。快適な運転をしていたかどうかを確認できる便利なデータです。

>> 最新のシステムで万全装備



今回、SRを導入した6台の車両はバス停の位置判定、音声合成装置と骨伝導システム、運転意識低下警報装置、車間距離センサなどで構成されています。お客様により快適で安全なバスの旅を提供するための最新のシステムが搭載されています。



SRのデータをもとに運転指導に熱が
はいる喜多村所長

[毎日がレベルアップのチャンス]

SRとDVRで取ったデータを帰庫時に乗務員と必ずチェックし、お客様の快適度を確認しています。SRシステムではお客様が不快に感じる運転操作がデータを通して一目瞭然。改善すべき点を乗務員自ら認識し、また指導する側も的確にアドバイスできるようになりました。毎回チェックすることで、自分の弱点を認識してレベルアップしたいという意識も生まれ、結果、技術の向上につながっています。

2005 AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION

データ・テックも出展 & 講演します!

自動車技術者のための日本最大の技術展

『人とくるまのテクノロジー展』開催

日本最大の自動車技術展『人とくるまのテクノロジー展』が5月18日から3日間、パシフィコ横浜・展示ホールにて開催します。世界から最新技術と製品が集う自動車技術者のための展示会に弊社は今年も出展いたします。今年は、セーフティレコーダを400台導入いただき、ドライバーの安全管理に抜群の成果をあげたという、アサヒロジスティクス株式会社小川修社長の特別講演も予定しております。お忙しいとは思いますが、ぜひともお立ち寄り下さい。

自動車技術展

人とくるまのテクノロジー展 2005

日時 5月18(水)~20(金)10:00~17:00

主催 社団法人自動車技術会

会場 パシフィコ横浜・展示ホール(横浜市西区みなとみらい11-1-1)

データテックのブース カーエレクトロニクス CE-15

講演会場 新製品・新技術紹介コーナー

入場料 無料

展示物 SRcomm、SRポケット、DVR、SRCAN、M12D

総合案内 ☎045-221-2155

ホームページ <http://www.pacifico.co.jp>



特別講演

『セルフコントロール(管理なき管理)』 ～セーフティレコーダの活用術～

食品物流の大手、アサヒロジスティクス株式会社

代表取締役社長 小川修氏が語るSRによる革新的安全管理術。

セーフティレコーダを400台導入し、独自の活用で燃費削減、ドライバーの運転技術向上、安全管理はもちろん、社員の意識改革をも成し遂げてしまったアサヒロジスティクス株式会社の小川修社長。彼がSRに求めたものは『管理なき管理』。いかにしてSRを使いこなして改革に結びついたのか。じっくりお話をさせていただけることになりました。

講演日時 5月20(金)16:00~16:30

場所 パシフィコ横浜・展示ホール『新製品・新技術紹介コーナー』

アサヒロジスティクス株式会社

食品専門物流のプロフェッショナルとして、関東一円に14ヶ所の物流センターと6箇所の営業拠点を持つ企業。創立50周年を超えてなお、ハイクオリティ、ロープライス、ベストサービスを基本とした総合物流サービスを行っている。



ホームページ: <http://www.asahilogistics.co.jp/>